

# 畜産協会だより

—とちぎの畜産情報誌—

第1巻第1号

2017年1月  
公益社団法人  
栃木県畜産協会  
TEL028-664-3434



## 『畜産協会だより』発行のごあいさつ

公益社団法人栃木県畜産協会

会長 高橋 武

新春の候、畜産関係者のみなさまには益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

当協会は、県民への安全で安心な畜産物を安定的に供給することを目的として、畜産経営体の経営安定等に関する支援・指導・助成や家畜改良、家畜衛生等の事業を行い、栃木県内の畜産の健全な発展と振興に寄与してきたところです。

このたび、これまで発行していた『とちぎの畜産』（栃木県畜産振興課発行・栃木県畜産協会編集）にかわり、新たに県内の畜産に関するさまざまな情報を『畜産協会だより』としてお届けすることといたしました。

今後も、当協会では畜産関係の各種事業を適切に実施するとともに、『畜産協会だより』を通して畜産関係者のみなさまに役立つ情報、畜産技術の最新情報、県内の畜産トピックスなど、身近なお役立ち情報を紹介してまいりますので、ご理解・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2017年が畜産関係者のみなさまにとって素晴らしい年となりますよう祈念申し上げるとともに、『畜産協会だより』発行にあたってのごあいさつといたします。



第10回全国和牛能力共進会(長崎)栃木県出品牛

## 目次

第33回栃木県肉用牛総合共進会の 開催結果について……	2
本県における飼料用稲・米の種子の 販売予定品種について……	3
畜産経営安定対策事業の交付状況 家畜衛生関係事業の実施状況 とちぎ畜産トピックス	} 4
今後の主な畜産関係行事予定 県内の家畜飼養状況 矢板家畜市場市況の推移	
事務局だより・協会の組織と業務	6

## 第33回栃木県肉用牛総合共進会の開催結果について

平成28年11月29日(火)に矢板家畜市場に於いて、栃木県マーケティング協会主催による第33回栃木県肉用牛総合共進会(種牛の部)が開催されました。この共進会は県内肉用牛生産の更なる振興を目的とし、種牛の部及び肉牛の部(黒毛和種・交雑種)枝肉共進会も併せ総合共進会として開催されています。

当日は300名を超える来場者があり、盛大に開催できました。全国でも頭数・価格とも上位に位置する「とちぎ和牛」の故郷に県内和牛子牛生産者を始め関係者が集まり、技術の研鑽の場となりました。

また今大会は前回に引き続き、本年9月に宮城県にて開催される第11回全国和牛能力共進会(全共)の出品対策とし、全共を見据えた若雌の部、繁殖雌牛群の部をもって行われました。

県内各地区から48頭の雌牛が集結し、若雌の1(生後14~17ヶ月未満)12頭、若雌の2(生後17~20ヶ月未満)16頭、成牛5(繁殖雌牛群)5群20頭の出品牛を、公益社団法人全国和牛登録協会専務理事穴田勝人氏を審査員に迎え、比較審査により和牛の種畜としての資質や優美さ、発育や体積・均称などについて競い合いました。

総評としては、以前に比べると発育は大きく、体の伸びといった体積は出たものの、体上線の緩いものや肩付きの悪いもの、後肢の弱い牛が多く見られたのは今後の課題と言えるでしょう。日頃の飼養管理の中で、如何に優良母牛の保留が大事なことを再認識し、今後は骨締まりのよい、肢腰のしっかりしたものを選抜・保留していきましょう。

### ◆第33回栃木県肉用牛総合共進会(種牛の部)入賞牛は以下のとおり◆ (飼養者名敬称略)

	最優秀賞	優 秀 賞	優 良 賞
若雌の1	てるしげ号(室井英範)	1席 うめしげ号(高柳文浩)	1席 はなみずき号(磯昌道)
		2席 ふくいち号(清水芳夫)	2席 いつこ5号(小池幸一)
若雌の2	かよこ号(菊池義男)	1席 ひさゆり10号(小林庄一郎)	1席 ちはやざくら号(松本肇)
		2席 みずか号(高根沢英喜)	2席 きよぎく2号(小林貢)
成 牛 (繁殖雌牛群)	ひろみ号(人見幸夫) ただみ号(川又豊蔵) おとめ号(伊藤雅之) まい号(相馬友勝)	1席 ゆりかつ号(福田次男) しげゆり号(小森茂) ゆりか号(大森政宏) ゆきこ号(渡辺毅)	1席 しおかぜ号(和地良一) ゆりめか号(大森浩之) あさみ4の4号(川上賢二) すずらん187号(JA全農南那須牧場)
		2席 ゆりな号(山川孝宜) あかり号(和田恭輔) みなみ号(堀川昭弘) ふじ5951号(山中義生)	2席 ちょうこ号(鈴木隆) かずこ号(和気輝) かつこ号(笹沼洋一) はなこ号(佐々木優)



## 本県における飼料用稲・米の種子の販売予定品種について

栃木県草地畜産種子協議会では、平成20年度から飼料用稲・飼料用米種子の販売に取り組み始め、今年度で9年目を迎えます。取組開始当初は国の制度が始まって間もなかったため、取扱数量・品種もわずかでした。しかし、平成22年より年々増加を続け、平成25年度の販売実績は15,628kg、平成26年度は21,220kgとなり、平成27年度は23,940kgと年々増加しています。

平成29年度向けの販売予定品種・予定数量は表のとおりです。ご希望の場合は、最寄りのJ A、酪農協または各市町の地域農業再生協議会に申込書が配布してありますので、ご相談ください。

なお、販売単位は20kgとし、代金は着払いの発送を予定しています。

商品の表示価格は税込みで、別途送料がかかります。

### ○「県内採取取扱予定品種・予定数量と販売価格」

品 種 名	価格(円) / kg	販売数量
クサホナミ	540円	5,480kg
たちすがた*	540円	5,500kg
夢あおば	540円	7,740kg
クサホナミ (H 27 産)	540円	480kg
たちすがた (H 27 産)	540円	780kg

※たちすがたについては発芽試験の結果により販売予定変更ありえます。



### ○「日本草地畜産種子協会取扱予定品種・予定数量と販売価格」

品種名	価格(円) / kg	販売数量
べこごのみ	756円	15,100kg
べこあおば	756円	12,800kg
夢あおば	756円	26,100kg
ホシアオバ	756円	12,900kg
クサホナミ	756円	3,300kg
リーフスター	1,080円	12,000kg
モミロマン	756円	6,700kg

品種名	価格(円) / kg	販売数量
たちすずか	1,296円	34,200kg
たちあやか	1,620円	19,900kg
モグモグあおば	756円	7,100kg
タチアオバ	756円	15,000kg
ミズホチカラ	756円	10,700kg
ミナミュタカ	864円	7,500kg

※表の品種・数量は発芽試験等によって変更になる場合がありますので、ご承知願います。

## 畜産経営安定対策事業の交付状況

### 肉用子牛生産者補給金

対象期間	品種区分	交付単価	頭数	交付戸数	交付日
平成28年度 4～9月期	黒毛和種 褐毛和種 その他の肉専用種 交雑種	交付なし	交付なし	交付なし	交付なし



### 肉用牛繁殖経営支援事業

対象期間	品種区分	保証基準価格(円)	当該期平均売買価格(円)	発動基準価格(円)	交付金単価	交付日
平成28年度 7～9月期	黒毛和種	337,000	812,100	450,000	交付なし	交付なし
	褐毛和種	307,000	764,800	410,000		
	その他の肉専用種	220,000	389,600	290,000		

### 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン）

対象期間	品種区分	交付単価(円)	頭数	交付金額	交付戸数	交付日	
平成28年4月確定		0	0	0	0	交付なし	
平成28年5月確定		0	0	0	0	交付なし	
平成28年6月確定		0	0	0	0	交付なし	
平成28年7月確定	乳用種	17,800	742	13,207,600	18	概算払9 / 27	精算払11 / 25
平成28年8月確定	乳用種	26,800	682	18,277,600	19	概算払10 / 27	精算払11 / 25
平成28年9月確定	乳用種	47,000	776	36,472,000	21		確定払11 / 25
平成28年10月概算	乳用種	41,300	719	29,694,700	16	概算払12/26	

(注) 全期間において肉専用種・交雑種について補填金の交付はありませんでした。

### 養豚経営安定対策事業（豚マルキン）

対象期間	平均粗収益(円)	平均生産費(円)	差額(円)	補てん金単価	交付戸数	交付日
平成28年度 4～9月期	38,399	32,833	5,566	交付なし	交付なし	交付なし

## 家畜衛生関係事業の実施状況

(対象期間：平成28年4月～9月)

項目	交付決定頭数(円)	実施頭数(円)
BSE検査	2,800	1,135
ヨーネ病自主検査	2,700	1,378
ヨーネ病自主とう汰	15	2
牛白血病自主検査	180	238
アカバネ病単味ワクチン接種	12,883	12,599

## とちぎ畜産トピックス

### 県内の畜産団体紹介コーナー — 栃木県養豚協会編 —





栃木県養豚協会は、星種豚場の星正美氏を会長とし、81名の会員からなる団体です。県内の養豚農家の殆どが加入しており、飼養技術や疾病対策に関する「養豚セミナー」を開催したり、県の補助を受けた「悪臭対策事業」にも取り組んでおります。また、毎年東京の公園などで開催される「俺たちの豚肉を食べてくれ」（通称「俺豚」）などの全国的な豚肉消費PR活動にも積極的に参加しています。

## 今後の主な畜産関係行事予定

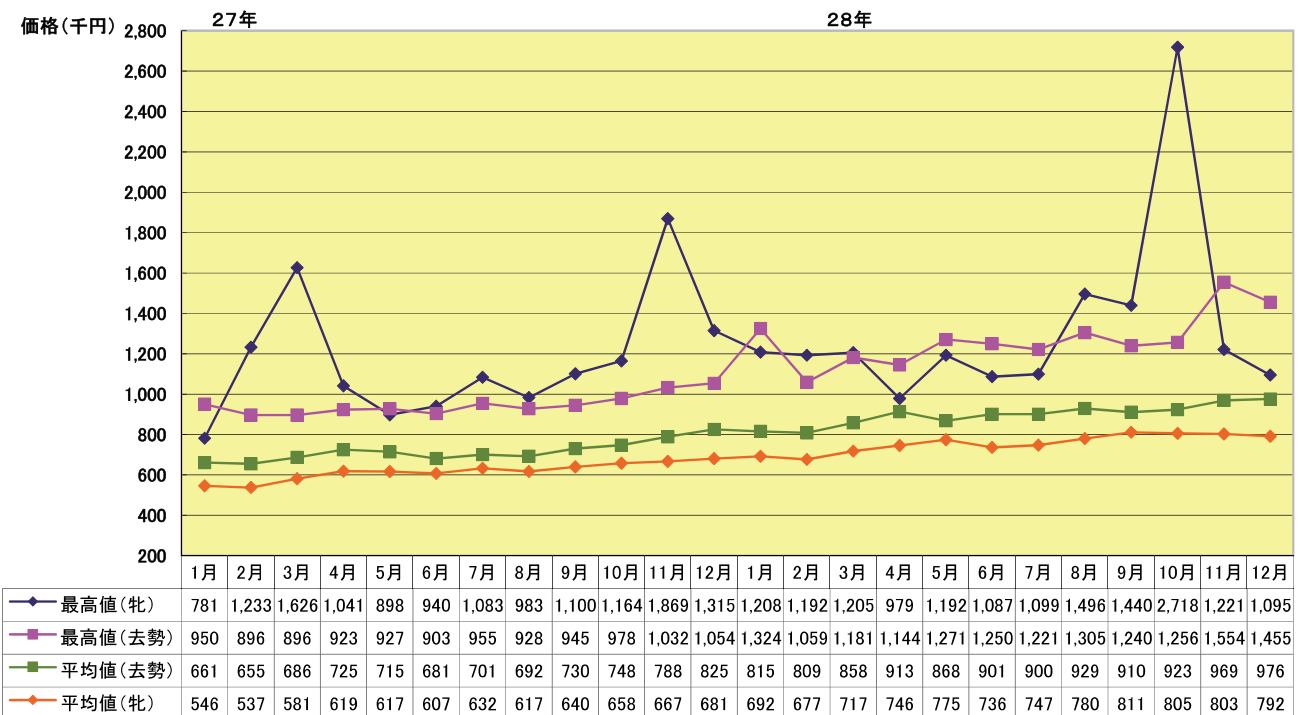
日 時	行 事	場 所
2月3日(金)	第41回栃木県酪農発表会	ホテル東日本宇都宮
2月15日(水)	第45回家畜人工授精師優良技術発表会	東京ヤクルトホール
2月13日(月)	栃木県畜産振興議員の会	ホテルニューイタヤ
3月1～2日(水～木)	矢板家畜市場	矢板家畜市場
3月16日～17日(木～金)	第106回日本養豚学会大会	日本獣医生命大学
3月22日(水)	平成28年度畜産協会第2回理事会	畜産会館

## 県内の家畜飼養状況

平成28年2月 農林水産統計

畜 種	飼養戸数 (全国順位)	飼養頭数 (全国順位)	1戸当たり飼養頭数 (全国順位)	対前年比 (%)	
				飼養戸数	飼養頭数
乳牛 	785戸 (3位)	52800頭 (2位)	67.3頭 (9位)	99.4	98.7
肉用牛		81200頭 (6位)			
うち乳雄 	954戸 (13位)	12300頭 (3位)	85.1頭 (11位)	96.5	98.2
うち交雑		29200頭 (2位)			
うち繁殖雌		20700頭 (14位)			
豚 	112戸 (12位)	394600頭 (8位)	3523.2頭 (4位)	82.4	100.4
採卵鶏 	62戸 (13位)	3,505千羽 (21位)	43.5千羽 (26位)	87.3	90.3

## 矢板家畜市場市況の推移



12月の矢板家畜市場は、686頭上場中684頭が成立し、前年同月比38頭増となりました。

平均価格は対前月比雌10,104円安、去勢7,827円高となりました。

雌子牛は前月に比べ上下価格差はでたものの繁殖向購買者の導入意欲旺盛により高止まりの取引となり、去勢子牛についても好調な枝肉相場に支えられ活発な取引となりました。

## 事務局だより

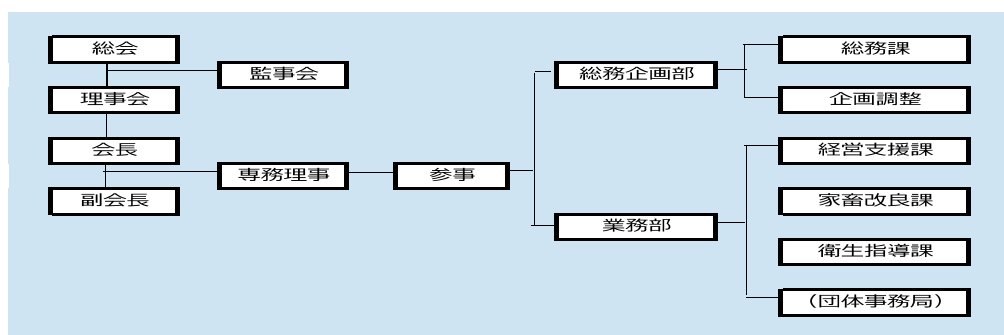
昨年を振り返ると、年明け早々の大雪に始まり、4月の九州熊本地震、迷走した台風10号、そして史上初めての11月の首都圏での積雪など、1年を通して異常気象に見舞われた感がある。

社会の動きとしては、英国のEU離脱や米国大統領選でのトランプ氏勝利などのほか、国内でも、築地市場の豊洲移転問題など、今後の動向を注視しなければならない問題が積み残されてしまった。

そのようななか、酉（とり）年の新年が幕を開けた。古代中国で「酉」は「収穫した果実から酒が熟成される様」を意味するそうだ。ちなみに昨年（さる）は「果実が熟成して固まりつつある様」だという。当協会が窓口となって昨年スタートした畜産クラスターのリース事業も、今年は素晴らしい成果として結実させたいものである。昨年稿を練り、新年にあたって『畜産協会だより』を創刊できたことに感謝している。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 協会の組織と業務



総務企画部	総務課	協会の運営・財産に関すること 予算・決算・庶務経理に関すること 文書管理に関すること 栃木県収入証紙に関すること
	企画調整	畜産振興に係る企画立案・調整に関すること 畜産物の消費拡大に関すること
業務部	経営支援課	畜産経営・技術指導に関すること 畜産環境保全指導に関すること 家畜畜産物の価格安定・生産振興に関すること 自給飼料生産に関すること
	衛生指導課	家畜の疾病予防に関すること 畜産物の生産衛生指導に関すること 死亡牛の円滑処理に関すること
	家畜改良課	家畜の改良増殖に関すること 家畜の登録事務に関すること
	各団体事務	和牛改良協議会・養豚協会・養鶏協会・人工授精師協会 指定種豚場栃木県協議会・草地畜産種子協議会 コントラクター協議会・馬事畜産振興協議会・オーエスキー病防疫協議会

### 公益社団法人栃木県畜産協会

代表理事会長 高橋 武

〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地 6-7

TEL 028-664-3434 FAX 028-683-1077

<http://www.tochigi-chikusan.jp>